

(別紙様式)

金沢市立新神田小学校

[はじめに]

本校は、昭和56年(1981年)に開校した。全校児童数は367名、教職員は23名である。

金沢市の西南部に位置し、校区は北側を流れる犀川と南側を流れる伏見側に囲まれており、東側には四季折々の医王の山並みを望むことができる。学校周辺には用水が流れ、田畑も見られるが、団地や商店街などが広がっている。犀川には四季を通じて美しい自然があり、地域の人々の憩いの場となっている。児童にとって、自然に親しむとともに様々な学習活動に取り組める環境となっている。

心豊かな児童の育成をめざし、地域の人々とかかわり、体験学習を通して環境・福祉・伝統文化を主要テーマとし、生活科や総合的な学習の時間に取り組むと同時に、教科学習においても「わかる・できる・つながる」をテーマに課題解決学習を行って持続発展教育の実践に取り組んでいる。

魅力発見！ わたしたちの「新神田」「犀川」そして、「金沢」

1 ユネスコスクールとしての取組

3年生 ぼくたち、犀川探検隊！ ～ 四季の変化を感じながら ～

地域に流れる犀川で、探検したり生き物フィールドビンゴをしたり、水質調査をしたりして、犀川の水がきれいであることや水生昆虫のことを知った。それらを新聞にまとめて学年で交流したり、学習発表会で全校に伝えたりする活動を行った。自分たちの地域のよさを理解し、これからも地域のよさを守っていこうとする心情を持つことができた。



4年生 伝統工芸を学ぶ

金沢にはどのような伝統工芸品が、どのように受け継がれてきたかを一人一人が調べた。多くの伝統工芸が大切にされ「金沢の宝」としてのよさに気づき、学んだことをグループでまとめて交流したり、学習発表会で全校に発信したりすることができた。また、職人の方をお招きして「金沢貼函」作りを体験するなかで、金沢を愛し伝統を受け継ごうとする思いに触れ、さらに伝統工芸への理解を深めることができた。



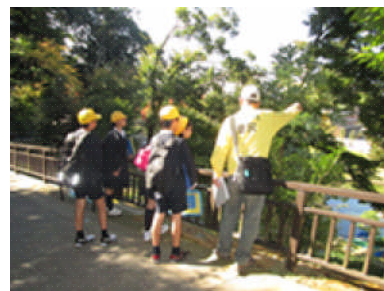
5年生 いいね！ 郷土の食材 ～加賀野菜の魅力にせまろう

ふるさとの野菜を調べて「加賀野菜」があることを知り、実際に地域の農家の方と一緒に、へた紫ナス、打木甘栗かぼちゃ、五郎島金時を育てたり調理したりする活動を行った。社会科での学習とも関連して、郷土の自然や野菜を大切にし守り伝えていくために、生活を見直して自分たちにできることを考えることができた。加賀野菜の魅力を新聞にまとめたり、学習発表会で全校に発信したりした。



6年生 発見！金沢の歴史・文化

金沢には多くの歴史・文化にかかわるものが残されていることを資料などから調べ、金沢観光ボランティアガイドの「まいどさん」とともに残された歴史的建造物を見学する活動を行った。この体験や「まいどさん」とのふれあいから、改めて金沢のよさに気づき、そのよさを伝えるためのパンフレットを作成し交流することができた。また、和菓子作りの体験も行った。これらの活動から、今も残る歴史や文化の深さやそれを伝えてきた先人たちの願いに気づき、大切にしていこうという思いを持つことができた。



その他、特別活動を通して

(1) 児童会活動（縦割り活動）

- なかよしクリーン（無言：もくもく清掃）
- なかよしウォークラリー（10月）
- なかよしあいさつ運動（年間） ○「心の日」（年5回）
- ボランティア活動（7月・・・地域の公園の清掃活動）
- 「絆活動の日」（1月・・・小中合同あいさつ運動）
- 地域の方々への「ありがとうの会」（感謝のプレゼント作り）
縦割り活動や様々な人とのかわりを通して、互いに思いやる心や協力してよりよい生活を築こうとする心が育かれた。



(2) 福祉教育・環境教育

- プルタブ、ペットボトルキャップ、ベルマーク、書き損じはがきの収集活動
- 毎朝の放送で、児童による節電・節水を呼び掛けるエコキャンペーン活動
環境を守り、再利用できる資源を大切にするとともに、困っている人の役に立つことを学び、自分にできることを考え、行動することができた。

2 成果と課題

【成果】

- (1) 持続発展教育の視点から、学校研究として「学び」が「次の学び」へとつながるという実感を持たせるための授業研究を行ってきたことで、児童の中に「活動の見通し・つながる意識」を持って課題を見つけ、考え、調べ、表現するなどの主体的に活動する姿がふえてきた。
- (2) 調査・栽培・製作・探検・奉仕などの協動的な体験活動に取り組むことで、身の回りの友だちや多くの地域の人々とのふれあいやつながりの大切さを実感するとともに、「ふるさと新神田・金沢」のよさについても再発見することができ、地域を愛する心情を育むことができた。
- (3) 学習の成果を発信する場として、学習発表会の機会を活用した。自分たちの学びや地域に対する思いを伝えるための工夫や練習を積み重ねることで、発信する力がついてきている。この発表会は、年2回、毎年行ってきていて、地域の方も楽しみにしている。児童も、参観者からのメッセージをもらいがんばりを認めてもらったことから自信を持ち、次の活動への意欲につながった。

【課題】

- (1) 今後は、持続発展教育で重視する能力・態度を全教職員で共通理解し、本校の実態に応じた視点を絞り込み、総合的な学習の時間を含めて、さらに授業研究を焦点化していきたい。
- (2) 来年度は、本校の活動をさらに充実させ、地域や他校との連携や協力を進め、広めていくために指導計画の充実をはかる。